

「通学の負担軽減策」について、専門部会メンバーへの意向確認結果（※会議用事前アンケート）

選択肢	理由等
どちらも（自転車・公共交通機関）必要と思う ＜12名＞	・自転車通学は、ヘルメット着用の指導が必要。 ・築港地域から、徒歩では距離があるので、バッグ等の荷物の負担がかなりある。 ・ヘルメットの着用が必要。 ・自転車通学を認めていただける場合は、ヘルメット着用を義務付けていただきたい。 ・定期券等の支給は、制服と同様に、統合でやむ無く途中で通学先が変更となる、令和8年度の築港中学校1年、2年生の生徒への支給が望ましい。 ・生徒のことを考えると、どちらも必要。 ・現在の生徒と保護者、これからの生徒と保護者の思いを最大限尊重いただくとともに、決定された方法も、在校生、保護者の意見に柔軟に対応いただきたいと思います。
自転車通学を認めてあげてほしいと思う ＜5名＞	・自転車通学は認められていないが、かつて、港晴地域から築港中のほうへ自転車通学する生徒をみかけたことがある。自転車を認めてあげたほうが、風紀が乱れないかと思う。 ・自転車の安全指導は必要かと思います。 ・「公共交通機関の定期券等」が可能であれば望ましいが、予算的に大丈夫なのか疑問があるため、「自転車通学」としました。 ・他の中学校統合の場合の実例などがあればご教示願います。
公共交通機関（電車・バス等）の定期券等を支給してあげてほしいと思う ＜3名＞	・自宅から徒歩圏内に学校がある事が理想であり、電車で1駅ある以上は、通学定期券等の措置があってもいいと思います。 ・自転車通学については、事故等が心配なため、認めてほしくはないです。 ・少しでも生徒たちやご家庭の通学の負担が減るように、定期券等の支給は是非ともあったほうがよい。 ・ただし、築港地域だけに支給するのか、例えば港晴地域も元々は築港中学校になるので、港晴でも築港寄りの地域には支給するのか、それは何丁目までにするのかといった線引きも難しいところです。 ・自転車通学については、事故や交通違反、学校で定めた自転車通学のルール等が守れないトラブルが生じる。（※友達と二人乗り、帰宅せずにそのまま自転車で遊びに行くなど。）

●その他ご意見

・築港地域から、徒歩で通学する場合、交通量が多く危険であるため、今後決定される通学路によっては、新たに信号を設置する必要もあると思う。